

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

平成30年4～6月期の景況 / 平成30年7～9月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、緩やかな回復傾向である

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2018年4～6月期の実績と2018年7～9月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から0.2%の回復となった。業種別では、建設業が▲7.4%から▲3.6%、製造業が▲30%から▲26.3%、サービス業が▲19.2%から▲15.4%と若干回復した。卸売業においては10.5%から5%へと悪化、小売業が0%から▲11.1%へと大幅に悪化するという結果になった。

来期の新規設備投資については、2.7%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、全業種において「従業員の確保難」が上位となり(建設業は8期連続)、前回に引続き、人出不足感の強い結果となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

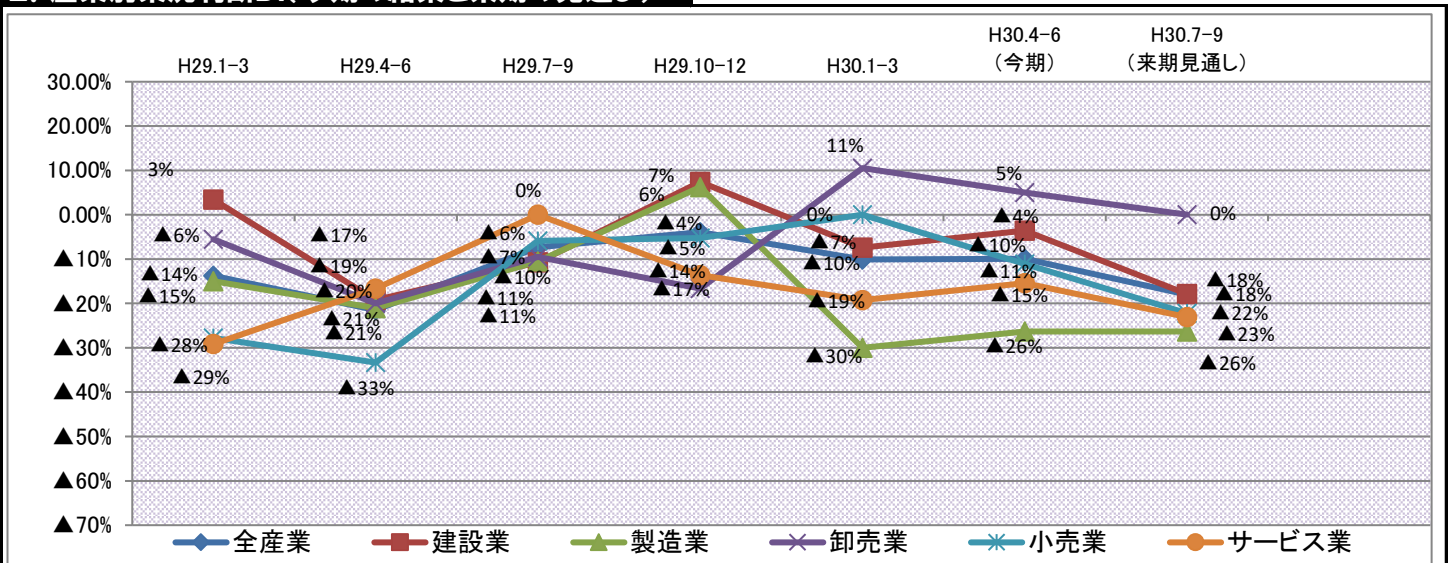
DATE

- 調査期間: 2018年5月23日～6月8日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 112社(82%)

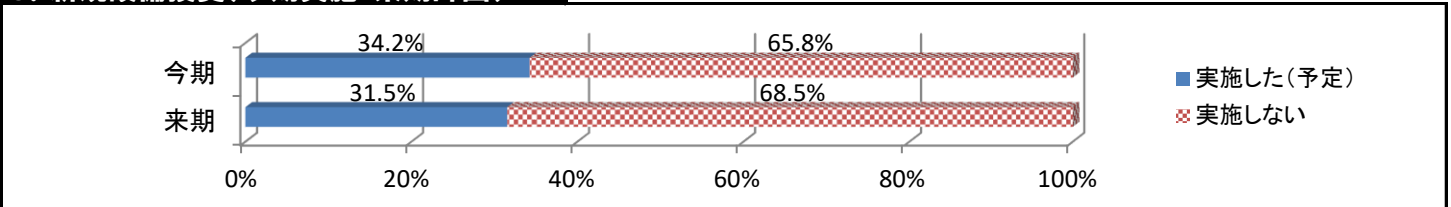
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲9.9%	0.2%	▲4.5%	▲0.9%	▲0.9%	10.0%	▲17.1%	2.1%	▲0.9%	▲6.4%
建設業	▲3.6%	3.8%	▲3.6%	3.8%	14.3%	14.3%	0%	11.1%	0.0%	▲3.7%
製造業	▲26.3%	3.7%	15.8%	40.8%	5.3%	20.3%	▲31.6%	3.4%	0.0%	▲25.0%
卸売業	5.0%	▲5.5%	▲10.0%	▲36.3%	0.0%	10.5%	▲5.0%	▲10.3%	10.0%	4.7%
小売業	▲11.1%	▲11.1%	▲16.7%	▲16.7%	▲22.2%	▲10.5%	▲27.8%	▲10.1%	0.0%	▲6.3%
サービス業	▲15.4%	3.8%	▲7.7%	▲0.3%	▲7.7%	10.8%	▲26.9%	7.7%	▲11.5%	▲4.1%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 28.6%	従業員の確保難 21.6%	従業員の確保難 23.1%	従業員の確保難 17.0%	従業員の確保難 18.2%
2位	熟練技術者の確保難 14.3%	原材料価格の上昇 13.7%	人件費の増加 13.5%	需要の停滞 15.1%	利用者ニーズの変化への対応 13.6%
3位	下請業者の確保難 11.7%	需要の停滞 13.7%	仕入単価の上昇 11.5%	販売単価の低下・上昇難 11.3%	材料等仕入単価の上昇 12.1%
4位	官公需要の停滞 9.1%	生産設備の不足・老朽化 11.8%	需要の停滞 11.5%	人件費の増加 9.4%	需要の停滞 10.6%